

Course number		U-LAS29 20026 SJ48							
Course title (and course title in English)		日本語概論 Introduction to Japanese Linguistics			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Institute for Liberal Arts and Sciences Professor,PALIHAWADANA Ruchira		
Group		Languages		Field(Classification)					
Language of instruction		Japanese		Old group				Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1	Class style		Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・Second semester
Days and periods		Thu.2		Target year		1st year students		Eligible students International students	
[Overview and purpose of the course]									
私たちは言語を媒体として言語外の様々な事象を把握する。故に、言語の仕組みや体系に対する理解は、その言語を通した言外の事象の見方・捉え方を知る貴重な手がかりとなる。 この授業では、日本語文の構造的特徴について概観しながら、文法体系によって表し分けられる様々な見方について考察していく。									
[Course objectives]									
日本語に対する理解を深めると共に、履修者の母語との対照を通して、日本語の言語事象を分析する関心・能力を養うことを本授業の目標とする。									
[Course schedule and contents)]									
以下の通りに進めていく予定であるが、履修者の興味や背景に応じて変更する場合もある。									
第1回 履修ガイダンス・外界の捉え方 話し手中心の言語としての日本語									
第2回 人称表現・タスク 母語との比較									
第3回 格助詞の諸問題 補語と述語									
第4回 「は」と「が」 主題と主語									
第5回 ヴォイス 受け身と使役									
第6回 授受表現と視点									
第7回 複文 条件表現を中心に									
第8回 言語における時間 テンス・アスペクト									
第9回 認め方 否定表現を中心に									
第10回 モダリティ 叙法と伝達									
第11回 予見と蓋然性									
第12回 必然性と義務									
第13回 評価性と若者言葉・タスク 母語との比較									
第14回 終助詞と情報構造									
第15回 期末試験									
[Course requirements]									
日本語・日本文化研修留学生専用科目									
[Evaluation methods and policy]									
以下の通りに評価する。									
授業活動への参加度合：30%									
タスク ・ ：30%									
----- Continue to 日本語概論(2) -----									

日本語概論(2)

期末試験：40%

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

松岡弘監修 『初球を教える人のための日本語文法ハンドブック』（スリーエーネットワーク）

ISBN:4-88319-155-9（2000）

白川博之監修 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』（スリーエーネットワーク）

ISBN:4-88319-201-6（2001）

日本語記述文法研究会 『現代日本語文法4 モダリティ』（くろしお出版）（2003）

工藤浩他 『日本語要説』（ひつじ書房）（1993）

寺村秀夫 『日本語のシンタクスと意味』（くろしお出版）（1982）

寺村秀夫 『日本語のシンタクスと意味』（くろしお出版）（1984）

寺村秀夫 『日本語のシンタクスと意味』（くろしお出版）（1991）

[Study outside of class (preparation and review)]

テーマ別参考文献を調べること

[Other information (office hours, etc.)]

木曜日4限（14:30～16:15）をオフィスアワーとする。

研究室：旧石油化学教室本館棟105号室

研究室電話番号：075-753-2555

E-mailアドレス：palihawadana.ruchira.8n@kyoto-u.ac.jp